

あのお店会社

全社員が一丸となり5S活動を推進、現場改善進行中

有限会社松本精機製作所

●松本市並柳1-23-3 ●TEL：26-0432 ●FAX：25-2321
●URL：http://www.matsumotoseiki.com/

昭和39年3月創業。当時はプレス事業を展開、現在は精密機器の組立と検査を中心に実績をあげている。大嶋健資社長は2代目で、本社は松本市並柳に置く。従来から、「お客様の満足向上を深く追求し、高品質な製品をより安く、より早く提供する」、「常に向上心を持ち続け、更なる改善に努め、お客様のあらゆるニーズにお応えできる体制を作る」、「社会的法的責務を果たし、地球環境保全を最優先にし、より良い未来を構築する」ことを目指して活動してきた。



●5S活動は会社の土台固め

5Sの発祥は日本であり、工場や事務所、役所や病院などで導入が進み、今や海外にも普及している。5つのSは、整理 (Seiri)・整頓 (Seiton)・清掃 (Seisou)・清潔 (Seiketsu)・躰 (Shitsuke)のことを指すが、職場の5S活動とは、単なる見た目の美しさや綺麗さを追求するものではない。仕事現場の不具合や不効率を顕在化し、改善に向けた取り組みを積み重ねることにより、最終的には会社の収益改善や社員の待遇改善など企業力の向上に寄与する現場改善の専門的な手法である。

当松本地域では、3年前より支援機関のコーディネーターが中心となり専門家や関係機関と連携して松本5Sプロジェクトを展開、「社員がより働きやすい職場づくり」、「より良い会社にするための創造性豊かな人づくり」を目指した現場改善活動が、企業の実情に合わせて企画推進されている。

●全社員参加による活動

同社では平成29年4月以降、全社員が参加したキックオフ大会、基礎知識の勉強会を通じて意思疎通を図りながら、同年9月まで毎月1回の5S活動を専門家の支援のもと実施した。例えば、「整理の徹底」については、今ある備品を必要なもの、不必要なもの、保留のものに徹底して分別した上で、使用

方法や収納方法を全社員が共有できるように標準化する取り組みを実践している。

5S活動を始める前は、「作業を事細かに指示するものの、社員の意識や行動はバラバラで、指示内容も十分行き届いていなかった」と大嶋社長。しかし、5S活動を通じて、「リーダーが決まり率先して話し合いの場をもつようになった結果、改善活動とともに創意工夫が生まれ、グループの仕事の効率や生産性が向上するようになった」という。また、取引先が工場を見学に来た際にも高評価をいただけるようになった。



通路を確保し
整備された環境で働く皆さん

●今後の展望

同社の5S活動は、専門家が独自に設定した認定レベルで「銅賞」を獲得した。今後は、当面「銀賞」レベルを目標とする中、平成30年度、大嶋社長の経営方針には、「5S活動の習慣化による更なる前進」、「社員が率先した意識改革の更なる推進」、「顧客ニーズに対応できる体制強化」が掲げられている。TVの企画で放映された自動三角折機能付トイレトーパーホルダー『Orifuji』の組立にも携わるなど、同社がこれまで変革を遂げた背景には、専門家による5S活動の直接効果のほか、大嶋社長の社員に対する思いやりのあるリーダーシップと、実直に取り組みを継続してきた社員一人一人の成果であるところは非常に大きく、同社の今後の更なる飛躍が期待される。

(経営指導員：田村 啓昭)

●5S活動の成果(支給部品置場・出荷品置場の改善)



Before
雑然と置いてあり
一目では出荷品が
わからない。

After
支給部品置場を廃止し
棚の備品置き場を設置。
出荷品置き場を半分にして
見栄えも良くなった。

事業継承補助金

創業支援補助金

持続化補助金

その他の支援